

導入事例

長野県工業技術総合センター様

最先端技術の研究開発をサポート！

～最新の測定装置をリモートで活用できます～

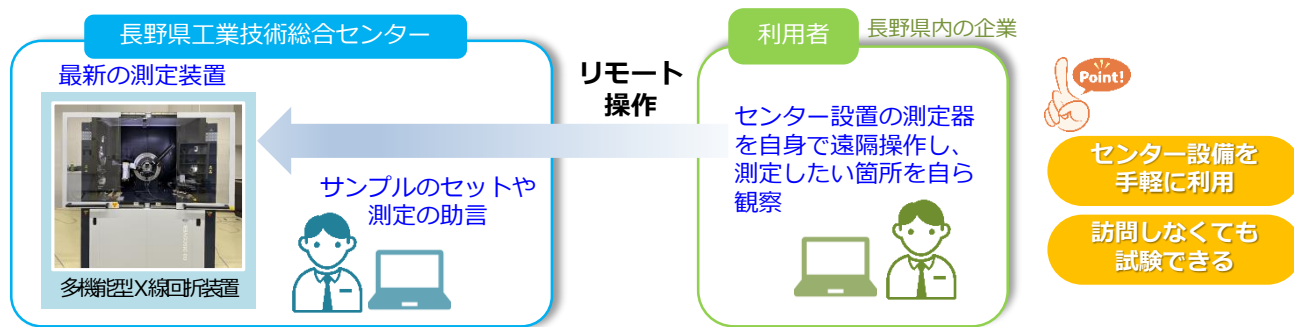
長野県工業技術総合センターは長野県産業労働部の現地機関であり、県内製造業の発展に寄与するための試験研究機関です。『次世代高速通信モジュール評価試験拠点（5Gラボ）』では、材料評価、成膜、機械加工、光学・電気特性評価に関する機器を設置し、次世代高速通信モジュールの研究開発を材料レベルから性能評価まで一貫でサポートしています。これらの機器を遠隔地からも活用できるシステム「バーチャル公設試システム」を構築、令和4年4月より運用を開始しており、時間や空間にとらわれないリモートでの技術支援サービスを提供しています。

※本システムはAIDが受託構築しました。

バーチャル公設試システムの概要・活用イメージ

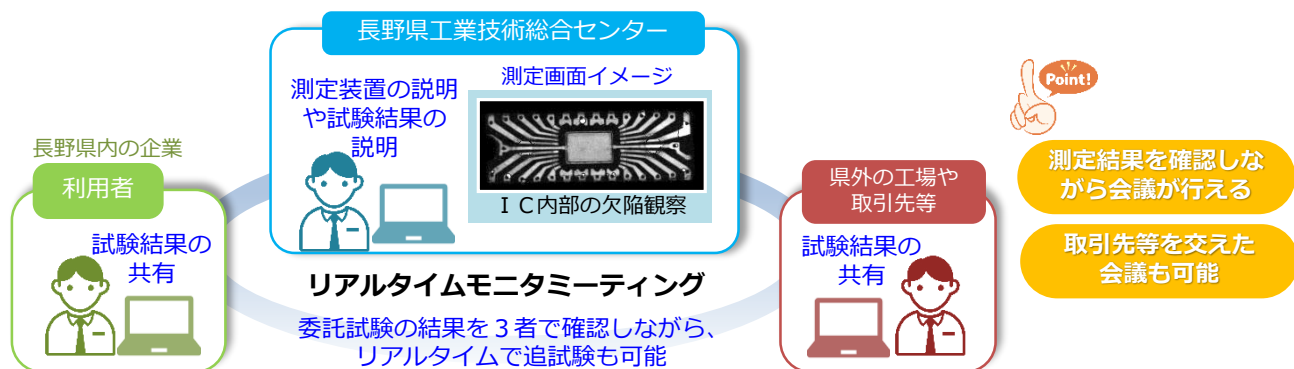
▶ リモート操作

- センター内に設置してある最新の測定装置を遠隔操作することができます



▶ リアルタイムモニタミーティング

- 測定装置から出力されたデータを共有しながらオンラインミーティングを行えます



次世代高速通信モジュール評価試験拠点（5Gラボ）

長野県工業技術総合センター
精密・電子・航空技術部門内
所在地：長野県岡谷市長地片間町1-3-1
<https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/>



長野県工業技術総合センター
Nagano Prefecture General Industrial Technology Center

バーチャル公設試システムの技術を応用すると、製造業様でも現場のリモートワークが実現できます。普段の勤務地から遠方の工場に設置してある製造機械をコントロールすることも可能（※）ですので、移動・出張などの経費や移動時間の削減効果が期待できます。詳細は弊社までお気軽にお電話ください。

（※）Windows搭載パソコン上のアプリケーションにて製造機械を制御している場合にのみ可能

お問い合わせ先

本ソリューションに関するお問い合わせ・ご相談受付
https://www.a-i-d.co.jp/contact_itsol.html

株式会社 アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン

<https://www.a-i-d.co.jp>